

公益社団法人広島県就労振興センター

2020 年度事業報告

2020 年度に入り、新型コロナウイルスの感染拡大とこれに伴う経済活動の低下により、障害者就労支援事業所で生産する自主製品の販売と内職、下請、施設外就労の受注が大きく減少し、障害者の就業と工賃の維持に甚大な影響を与えた。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大は、事業所において、職員や障害のある利用者が安全・安心に生産活動を継続することも厳しい状況をもたらすなど、事業所を取り巻く環境は、これまで経験したことの無い危機的な状況となった。

こうした中で、当センターは、会員事業所の声を受け、5月に県内事業所の状況についての緊急アンケートを実施し、県に対して必要な措置を講じるよう要望を行った。

ふれ愛プラザにおいては、コロナ禍における事業所製品の販路と売上を確保するための取組として、事業所で新たに手作りマスクを製作するための支援や販売、事業所生産のお菓子を詰め合せた「おやつ BOX」を開発し、外商による注文販売等に努めた。また、コロナ禍においても販路が維持・拡大できるよう、ふれ愛プラザのホームページにオンラインショップを開設した。

ふれ愛プラザ設置 20 周年を迎えたため、記念式典と夏の感謝祭を実施し、事業所情報の発信と事業所製品の販売促進に努めた。更には、市町庁舎等での事業所によるロビー販売などを会場と位置付けた「応援する輪を広げる市町キャンペーン」を実施し、事業所製品の販売促進並びに事業所と市町との連携を促進した。市町キャンペーンにおいては、事業所から応募のあった工芸品、雑貨をキャンペーン商品として活用し、販売促進を図るとともに、応募事業所製品に対して専門家から商品力向上のためのアドバイスを実施した。

共同受注窓口においては、官公庁や企業などからの内職等受注作業の開拓と斡旋につとめた。叡啓大学と企業、事業所とが協力したエコバッグなど新たな商品の開発にも努めた。年末にはセルプフェアを開催し広報に努めことにより、コロナ禍において事業所が安全・安心な製品の生産・販売の取組を進めていることを県民に周知することができた。こうした取組により、ふれ愛プラザと共同受注のいずれもコロナ禍において受注件数や売上金額を昨年比で伸ばし、会員事業所の売上の一助となるよう努めた。

研修の実施については、新型コロナウイルスの感染拡大により、集合研修の実施が困難な状況にあった。こうした中、販売支援及び調査・研究・研修部会においては、オンラインでの研修方法を模索し、実施した。オンライン環境が十分整わない事業所では研修を受けづらいとの課題もあったが、事前に十分な準備を行ったことから概ね円滑に実施することができている。今後も同様の状況が続くと考えられるため、引き続き会員のニーズを聞きながら効果的な研修に取り組む。

呉安芸地域就業・生活支援センター事業については、新型コロナウイルス感染拡大により、年度初めに自動車関連企業がほとんど休業状態となり、訪問自体が困難な状況にあった。求職者や企業のニーズを聞き取りながらハローワークと連携し、就業支援と定着率向上の取組を進めた。

すまいるスタジオは新型コロナウイルス感染拡大予防対策を進め、在宅支援にも取り組み、利用者が安心して働ける環境づくりに努めた。観光客を中心とした商品アイテムが多く、売上が大きく減少したため、千羽鶴未来プロジェクトと協働して新しい商品アイテムの開発に取り組んだ。職員が共通の意識と目標を持って、売上の確保と利用者の力を引き出す工賃向上に取り組んだ。

1 障害のある人の就労等に係る情報提供及び啓発に関する事業

(1) 広報事業

① 広報誌の発行（年1回：2月） 各回約5,700部 発行

関係行政、社協、民生委員、関連企業、正会員、賛助会員、諸団体等へ 配布

(2) 情報提供

① ホームページ、facebook の運営

セルフフェア2020 やふれ愛プラザ20周年記念イベント等の開催前にHPやFacebookで事業所や商品の紹介を行った。コロナ禍でイベント等開催が難しく、事業所情報を伝える機会が減少する中、SNSを活用し、より多くの方に情報を届け続ける必要性を感じた。

② 企業への情報提供

賛助会員企業へ「働く広場—障害者と雇用」（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構発行）を毎月配布した。

2 障害のある人の就労等に係る研修に関する事業

(1) 研修会

① 就労支援セミナー ～「働き、暮らす」を支援する～

日 時 2月12日（金）13時30分～16時

オンライン（Googlemeet）での開催

※事前に会員事業所に向け、オンライン環境の整備状況等の確認のため、「研修受講に関するアンケート調査」を行った。

共 催 広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会

講 師 松岡建興氏（りひと）

参加者 16名

内 容 講義「障害のある方が就労するうえでの生活支援について」
グループワークによる事例検討

3 障害のある人が福祉施設等で制作した商品の開発、販路の拡大並びに作業の開発、開拓、斡旋に関する事業

(1) 受発注マッチング・ふれ愛プラザ運営強化事業（広島県委託事業：ふれ愛プラザ・共同受注窓口事業）

① 総売上29,674,088円（対前年比124.3%）、来店者が14,247人（対前年度比105.4%）。

② 体験教室、イベントの開催について

I 夏休み工作教室は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。

II ふれ愛プラザ20周年記念式・夏の感謝祭の開催

日時：2020年8月20日（木） 10時30分～16時

場所：シャレオ中央広場

共催：広島市就労支援センター

内容：記念セレモニー、事業所商品の展示、販売、事業所活動紹介（動画による PR）

Ⅲふれ愛プラザ 20 周年 応援の輪を広げる市町キャンペーンの実施

期間：8 月 20 日～10 月末

内容：県内市町の庁舎、公共施設で行われる事業所による販売会等をキャンペーン会場とし、事業所製品の販促と事業所応援の輪を全県に広める。

③ 県民・市民に身近な“ふれ愛プラザ”を目指した店舗づくり

I 施設活動、製品についての広報・啓発（店舗、事業所紹介）

事業所で製造しているお菓子の詰め合わせ「おやつ BOX」の販売を強化。ふれ愛プラザ活動、製品紹介のチラシ等を作成し、行政、福祉機関・団体の協力のもと、幅広い販売促進と PR に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、さまざまなイベントが中止となり、製品紹介の場が減少した。そのため、商品情報や事業所のイベント情報等を紹介するオンラインショップの開設に努めた。

II 販売実習は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。

III 外部出展・販売

月	イ ベ ン ト	場 所 等	金 額 (円)	商 品
9	カープ 広島県・広島市合同応援	マツダスタジアム	84,736	お菓子・雑貨
10	広島県社会福祉大会	ガーデンパレス	47,784	お菓子・雑貨

※感染対策を徹底し、出展を行った。

⑤今後の運営に関する協議

I ふれ愛プラザ活性化協議会の開催

日 程	議 題
11 月 27 日（金）	コロナ禍におけるふれ愛プラザの取り組み状況を報告、県内障害福祉サービス事業所（就労継続 B 型）の売上や工賃への影響について情報共有を行い、今後の事業展開について協議した。
3 月 29 日（月） ※新型コロナウイルス感染拡大のため、書面決議	第 1 回協議会での意見を踏まえ、その後の取り組み状況を報告。

(2) 工芸品、雑貨等への品質と商品力向上への支援

「ふれ愛プラザ 20 周年 応援の輪を広げる市町キャンペーン」で購入されたお客様へのプレゼント企画として実施。プレゼントとしてエントリーされた事業所の商品（雑貨）について、デザインや商品規格、販売へのアドバイスをいただく。

実施事業所数：30 事業所

(3) 常設店・フェア・イベント事業支援

①常設展示

ひろしま夢ぷらざ（広島市中区）、広島プリンスホテル（広島市南区）、ローソン（広島市中区他 2 店舗）、ポプラ（広島市中区他 1 店舗）、イオン広島府中店（安芸郡府中町）、TAU（東京都中央区）

②創作品、商品の展示紹介活動の推進

参加事業所で実行委員会を組織し、フェアの企画、運営に携わっていただき、フェアの開

催と製品の質の向上を目指す。開催にあたっては、感染対策を徹底し、メディア等による県民への幅広いPRに努めた。

フェア名	開催日	開催地	参加事業所数
セルプフェア 2020	12月2日(木)～ 12月8日(火)	ひろしま夢ぷらざ (広島市中区)	24事業所 (内会員23事業所)

③ 斡旋紹介活動の推進

I 受発注マッチング・ふれ愛プラザ運営強化事業（共同受注）

年 度	売上高（件数）	比率：%
令和2年	10,525,689円（216件）	117（件数比125）
令和元年	8,993,312円（172件）	100（件数比100）

II ルイボスティ・海水の素共同受注事業支援

III 自動販売機事業共同受注事業支援

IV 商談会への参加

【令和2年度販路開拓支援事業「商談会」】 オンラインによる開催

期 日：2021年2月8日（月）

会 場：ホテルセンチュリー21広島

主 催：広島県商工会連合会

提案商品：蜜芋ジェラート（ゆめサポート・バク）、このは（甘酒）（ウイング）

内 容：小規模事業者等の商品開発・販路開拓を支援するため、首都圏並びに広島地区等のバイヤーを誘致した商談会

結 果：株式会社大丸松阪屋百貨店、株式会社紀ノ国屋、中国新聞47クラブへ商品提案を行う。直接の契約にはつながらなかったものの、味、パッケージについて改善への助言をいただき、事業所へフィードバックを行う。

V 情報収集・研修会への協力・参加

市町の自立支援協議会へ参加し、共同受注、情報収集、研修会への協力等を行った。

① 安芸高田市自立支援協議会への参加

- ・安芸高田市広報誌他の封入作業（発注元：政策企画課、秘書広報課）及び安芸高田市の
公用車洗車作業（発注元：社会福祉課）等の調整

(4) 研修会の開催

① 工賃向上研修（広島県委託事業）

I 工賃向上研修の実施協力

【工賃向上研修】

主催：広島県 実施主体：(株) インサイト

参加者：16名

日時・場所	テーマ	プログラム
第1回 11月4日(水) 10時～17時 オンライン研修 (Zoom)	【基礎講座】 工賃向上に 必要な視点と知識	工賃向上に必要な視点、就労会計と 事業評価、工賃支払規程、目標設定 方法、戦略策定 など
第2回 11月25日(水) 10時～17時 オンライン研修 (Zoom)	【実践演習】 全国の事例、工賃向 上計画策定	事例紹介、シナリオ策定、工賃向上 計画・個別支援計画・行動計画作成 の方法など

【実践報告研修～工賃向上に専門家の活用】

日時：3月23日（火）13時～16時

共催：広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会

参加者：19名

内容：講義「コロナ禍における工賃向上の取り組み～全国の研修を通じて～」

講師 （株）インサイト 代表取締役 関原深氏

実践報告 「利用者が安定して通所できる事業所を目指して」

報告者 わいわい工房 田中剛志郎氏

「工賃規程の見直し～利用者のやる気UPと工賃向上～」

報告者 ゆめサポート・バク 行廣七海氏

「売上向上への取り組み～昨年度受講後の取り組みと成果～」

報告者 ワークサポート希望の家 梶原龍之介氏

【工賃向上アドバイザー派遣】

日程 12月2日（水）、1月13日（水）、2月3日（水）、3月3日（水）

事業所 わいわい工房、ゆめサポート・バク、どりーむ、コスモス

アドバイザー 株式会社インサイト 北野喬士氏、高玉要氏

参加者 4事業所

内容 各事業所の課題、達成目標を整理し、行動計画を作成、実施に向けて助言を行う。

4 障害のある人に対する就業・生活支援に係る事業

(1) 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター事業を実施した。

就業支援登録：40名（累計1,273名）の就労希望者の登録

就業における実績：職場実習47件、就労実績46件、就職1年後91.8%

障害別・登録者 件数 （2021年3月31日現在）

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害 (発達障害・難病・ 高次脳機能障害)	合計（件）
166	690	378	39	1,273

2020年度 新規登録者内訳

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計（件）
5	15	20	0	40

2020年度 就業実績 件数 ※（ ）内は前年度件数

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計（件）
7 (8)	20 (26)	19 (15)	0 (0)	47 (49)

2020年度 職場実習あっせん 件数 ※（ ）内は前年度件数

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計（件）
4 (9)	17 (26)	26 (29)	0 (0)	47 (64)

就業定着率 (2018年度就業者68名のうち就業1年後の定着率) ※ ()内は前年度定着率

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (%)
87.5 (71.4)	92.3 (92.1)	93.3 (88.2)	0 (0)	91.8 (86.8)

(2) ピアサポート活動

ピアサポート活動はリピート率が高く、すぐ定員に達するほど人気のある企画となっている。4回開催の予定のうち、第1回は新型コロナウイルス感染拡大予防の為に開催中止、第4回はオンライン開催、その他2回は集合し開催した。

オンライン開催は初めてだったが、精神、発達障害の方が中心に自宅からパソコン、スマホを利用して参加があった。午前と午後の2回に分けて開催するなど、参加しやすい環境を整えることで参加も増え、当事者同士で活発に話をされていた。「集合型の会は気が重かったが、リモートなら気楽に参加できる」と、始めて参加した登録者も数名いた。交流会に参加することでストレスの解消や情報共有できる機会となっている。今後はコロナの影響を考えオンラインを活用しながら開催を継続していきたい。

2020年度第1回 2020年5月30日(土)	新型コロナウイルス感染症予防対策の為に開催中止
2020年度第2回 2020年10月31日(土) ビューポートくれ(呉市)	テーマ: コロナ禍のもとで頑張っていること ストレス解消法 参加者: 9名
2020年度第3回 2020年12月12日(土) ビューポートくれ(呉市)	テーマ: 外出できない今、どのように過ごしているか 参加者: 11名
2020年度第4回 2021年2月27日(土) オンライン開催	テーマ: ピアサポート活動で良いこと、困ること 参加者: 午前5名 午後7名

(3) 職場定着促進のための在職者交流活動

例年恒例の「障害年金講座」とお金を計画的に使えるようにするための「お金の使い方の学習会」について開催できた。新型コロナウイルス感染拡大予防の為に、第4回を中止した。知的障害の方は、家庭でスマホの使用を制限されていたり、オンラインでのやり取りが苦手な方も多く、オンラインによるイベントの開催が難しく実行できなかった。

2020年度第1回 2020年7月11日(土) ビューポートくれ(呉市)	【当事者・家族向け】(登録者・家族対象) 「障害年金の基礎講座」 参加者 26名 講師 社会保険労務士 畝田谷 栄子氏
2020年度第2回 2020年9月26日(土) ビューポートくれ(呉市)	【当事者向け】(精神障害者対象) 「お金の達人になろう」 参加者 28名 講師 ファイナンシャルプランナー 君崎 滋氏
2020年度第3回 2020年11月14日(土) ビューポートくれ(呉市)	【当事者向け】(知的障害者対象)「もし、ひとり生活をするとしたら・・・」 参加者: 18名 講師 呉安芸地域障害者就業・生活支援センタースタッフ
2020年度第4回	新型コロナウイルス感染症予防対策の為に開催中止

(4) 関係機関との連携

企業からの求人やマッチングに関して障害者能力開発校や就労移行支援事業所、ハローワーク

と連携し実習や面接をすすめることができた。精神障害者に関しては体調が変わりやすい方が多く医療機関と連携することが不可欠となっているため、受診同行し配慮事項を共有しながら整理した。

呉市、江田島市の自立支援協議会就労支援部会に参加し、障害者雇用をすすめていく上での課題について発言や行事等の案内をした。

- ・ 呉市自立支援協議会 6回出席（全6回開催）
- ・ 江田島市自立支援協議会会議 4回出席（全4回開催）

（5）関係機関との連絡会議の開催状況

関係機関との連絡協議会を9月と2月に行った。第1回は新型コロナウイルス感染拡大予防のため人数制限を行い、参加者を企業に絞って案内し、開催した。企業担当者向けに障害者雇用の支援体制を障害者職業センターや県の雇用労働政策課から情報提供のほか、研修会も併せて企画した。

2月の連絡協議会は新型コロナの第三波の影響で集合会議の開催が難しく、初めてオンラインによる開催となった。

<p>2020年度第1回呉安芸地域障害者就業・生活支援センター連絡協議会 2020年9月4日(金) ビューポートくれ</p>	<p>講演・研修会『障害者の雇用事例の発表』 講師：株式会社オンド 生産管理課 課長 小島圭司氏 グループリーダー 後口哲志氏 参加者 29名</p>
<p>2020年度第2回呉安芸地域障害者就業・生活支援センター連絡協議会 2021年1月27日(水) オンライン開催</p>	<p>講演・研修会『(株) エネルギア・スマイルの会社概要・取り組み等について』 講師：株式会社 エネルギア・スマイル 事業部長兼メールサービス課長 金山泰之氏 ビルクリーン事業課長 三輪桂司氏 参加者 13名</p>

（6）就労支援スキルアップを目的とした研修会参加状況

研修名	場所	期間
日本財団就労支援フォーラム NIPPON フクオカ	オンライン参加	2020. 11. 8
第8回 障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラム	オンライン参加	2021. 2. 12
職業リハビリテーション研究発表会（広島開催）	オンライン参加	2019. 7. 13

5 障害のある人の権利擁護に関する事業

研修会、イベント開催を通じて障害のある人の人権擁護に関する普及啓発を行った。

6 関係行政機関、団体等との連携に関する事業

(1) 全国社会就労センター協議会にアンケート・要望事項の提出

①共同受注窓口体制に関するアンケートへの協力

②全国社会就労センター協議会関連会議、研修会への参加

I 第1回協議員総会 7月21日(火) 文書審議による開催

・議題 令和元年度事業報告・決算(案)、令和2年度事業の基本方針(案)について 等

II 第2回協議員総会 2月26日(金) オンラインによる開催

・議題 令和2年度補正予算(案)、令和3年度事業計画・予算(案)、今後の障害福祉関係予算及び制度改善等の要望重要事項案について、役員改選 等

(2) 中国・四国社会就労センター協議会

I 役員会 2月18日(木) オンラインによる開催

・議題 役員変更について 等

II 中国・四国社会就労センター協議会総会 文書審議による開催

・議題 令和元年度事業報告・決算(案)、令和2年度補正予算、令和3年度事業計画・予算(案)について

(3) 障害者の就労に関する各団体及び理解と支援を示す各団体との連携

厚生労働省広島労働局、広島県障害者支援課、広島市障害自立支援課、広島県雇用人材確保課、広島障害者職業センター、広島障害者職業能力開発校、各障害者就業・生活支援センター、ハローワーク呉、ハローワーク広島、ハローワーク広島東、ハローワーク可部、ハローワーク廿日市、呉特別支援学校、広島北特別支援学校、広島特別支援学校、廿日市特別支援学校、黒瀬特別支援学校、広島市立広島特別支援学校、広島県共同募金会 広島県社会福祉協議会、ひろしまNPOセンター、千羽鶴未来プロジェクト等

7 障害福祉サービス事業所の運営

(1) 就労継続支援B型事業 利用契約者数：27名(3月末現在)

①利用者支援について

定期的に個別面談や作業アセスメントを行うことで、特性を活かした新しい作業に従事できる利用者が少しずつ増え、通所日数や就労時間の増加につながるケースもあった。一方で、通所に対するモチベーションが下がっている利用者もいるため、通所のモチベーションや“働くこと”に対する意欲向上を促していくことが課題である。生活面や体調面に課題があるため通所ができていない利用者については、本人や家族、関係機関と相談しながらこれからの道筋について一緒に考え、支援を提供していく。

作業内容に変化をもたせ、工賃支給額を見直すなど利用者が新しい作業に挑戦し、“働くこと”

に対する意欲向上へつなげていけるよう工賃規定の見直しを進めていきたいと考えている。そのためには、作業アセスメントを丁寧に行いながら利用者の力を引き出す支援の提供と、工賃を支払うだけの売上を確保しなければならない。引き続き、工賃向上のための行動計画を作成し、職員全員が共通の意識・目標を持ちながら利用者の工賃向上に取り組んでいく。

②コロナ禍での活動支援

作業場所については、パーティションの設置やテイクアウトのみの喫茶営業へ変更、消毒や換気の徹底、事業所内で密な状況を避ける等の対策を実施し、利用者それぞれが安心して働ける環境づくりに努めた。また、利用者・ご家族には、行動管理や検温、マスクの着用、事業所への送迎等をお願いし、多くの協力をいただいた。緊急事態宣言発令時及び感染拡大防止集中対策期間中には、希望に応じて在宅支援を提供した（在宅支援提供者数：11名）。

③千羽鶴未来プロジェクトと協同して、障がいのある方の仕事づくりを行う。

事業所との共同商品や作業の開発に取り組んできたが、を行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大のため多くの事業所が見学やグッズ製作体験会の実施できにくい状況となった。

- ・千羽鶴ファクトリーチームのキーステーションとして、グッズの共同製作やオリジナルグッズの製作、新商品の案内などの情報発信に努めた。
- ・広島市就労支援センターが発行するセンター通信に新商品の紹介や共同製作に関する記事を掲載し、情報発信に取り組んだ。

○折り鶴ポストカード事業（広島市の優先調達推進法を活用）

新型コロナウイルス感染拡大のため、海外からの旅行客や修学旅行生が大幅に減少したため、当初予定していた納品数が減少した。商品の納品だけでなく、折り鶴パネルなどの解体作業についても別途発注を受けた。

内容：ポストカード、しおりの発注を広島市内近郊で千羽鶴の解体を行っている事業所（46事業所）で共同受注した。

〔広島平和記念公園納品枚数（万枚）〕

	4月	11月	計
しおり	30	50	80
ポストカード	34		34

④その他活動

- ・掃除強化ダイの設定：掃除強化日を設定（週1日）

(2) その他

①職員会議（年3回）、職員ミーティング（月1回）

個々の利用者の支援内容や個別支援計画の内容について協議、行事や事業所運営に関する検討等

②関係機関との連携・研修会への参加

- ・工賃向上計画研修、令和2年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修等、職員のスキルアップを図るための研修に積極的に参加した。

8 その他公益目的達成に必要な事業

(1) 総会、理事会の開催

新型コロナウイルス感染拡大のため、書面決議にて開催した。

①総会

・第1回

【日時】 6月17日(水) 定款第18条の「書面決議等」による書面決議

【議案】2019年度事業報告(案)、決算報告(案)、会員の入退会、役員改選等

②理事会

・第1回

【日時・場所】 5月29日(金) 定款第34条の「決議の省略」による書面決議

【議案】2019年度事業報告(案)、決算報告(案)、会員の入退会、役員改選、特定費用準備資金及び特定資産取得資金の計画について等

・第2回

【日時・場所】6月26日(金) 定款第34条の「決議の省略」による書面決議

【議案】代表理事の選任について、会員の入退会について等

・第3回

【日時・場所】2月5日(金) 定款第34条の「決議の省略」による書面決議

【議案】4月～11月期事業報告等

・第4回

【日時・場所】3月25日(木) 定款第34条の「決議の省略」による書面決議

【議案】2020年度事業計画(案)、予算(案)、定款変更(案)、費用弁償規程変更(案)、顧問の選任について等

(2) 正会員及び賛助会員の拡大を推進し、組織の強化を図る。

①正会員

入会事業所：可部つちくれの家、りひと

退会事業所：ばすてる大野原、三原きぼう作業所

(3) 財務基盤の確立

・塩、ルイボスティ、スティックシュガー、缶飲料等の販売促進の取り組みを行った。